

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	市営駐車場管理事業(吉永)		コード	吉永 産業建設課
			01-01-04-03	担当者 久保山 仁也
事業実施期間			電話	0869-84-2513
総合計画 事業(政策)体系	大項目	安全で快適に暮らせるまちづくり		
	中項目	生活しやすいまちづくり		
	小項目	都市交通施設		
	施策	駐車場の整備		

事業について	
目的	市民の利便性及び違法駐車、迷惑車両の防止等により、安全かつ円滑な交通を確保するため
対象(誰のために)	駐車場利用者等
内容	上記目的のため駅前・上ノ鼻駐車場施設を維持管理し、駐車場利用者の公平性を確保するため、滞納者の徴収に努める

事業の結果	17年度		
実施項目	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
督促状等発送	3 回		
電話督促	4 人		
臨戸徴収(延べ)	8 戸		
定期駐車利用率(駅前)	84 %		
定期駐車利用率(上ノ鼻)	84 %		

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	1,746	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	2,970	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	4,716	一般財源等	4,716	合計	0	一般財源等	0

必要人員	0.35	人		人
結果指標名	収納額(滞納繰越分)			
結果指標量	88			
単位	千円			
対前年比	—		0.00%	
事業費	4,716,000	円		円
単位当たりコスト①		円		円

結果指標名	納付実数			
結果指標量	5			
単位	人			
対前年比	—		0.00%	
事業費	4,716,000	円		円
単位当たりコスト②	943,200	円		円

事業の成果	17年度		
成果指標名	滞納繰越分収納率	式又は説明	徴収額/調定額
成果指標量	48%		
対前年比	—	0.00%	
到達目標値	60%	到達目標年度	平成20年度

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等: 駐車場法、備前市営駐車場条例、条例施行規則	住みよいまちづくりのため、需要に応じて駐車施設の整備、維持管理を今後も行っていく必要がある。また、駐車使用料の滞納者に対しては、公平性の観点からも、徴収を強化し適正な収納を努め完納を目指す。
市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である <input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である	
効率性の評価	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	徴収の強化は、臨戸徴収の回数の増加等など、効率性は悪くなる。
職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
有効性の評価	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している <input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	効率は悪くなるが、臨戸徴収などの実施により、徴収率は向上すると思われる。
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

総合評価		評価区分 <A~E>
コメント	滞納額が累積される前に早めに、有効な方策を検討し徴収率向上に努める。	C

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合		
翌年度結果指標量①	180,100円	結果指標量②	9
目標値	成果指標量	60%	

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	臨戸徴収の回数等を増やす	平成18年度~	滞納者の減少

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。